

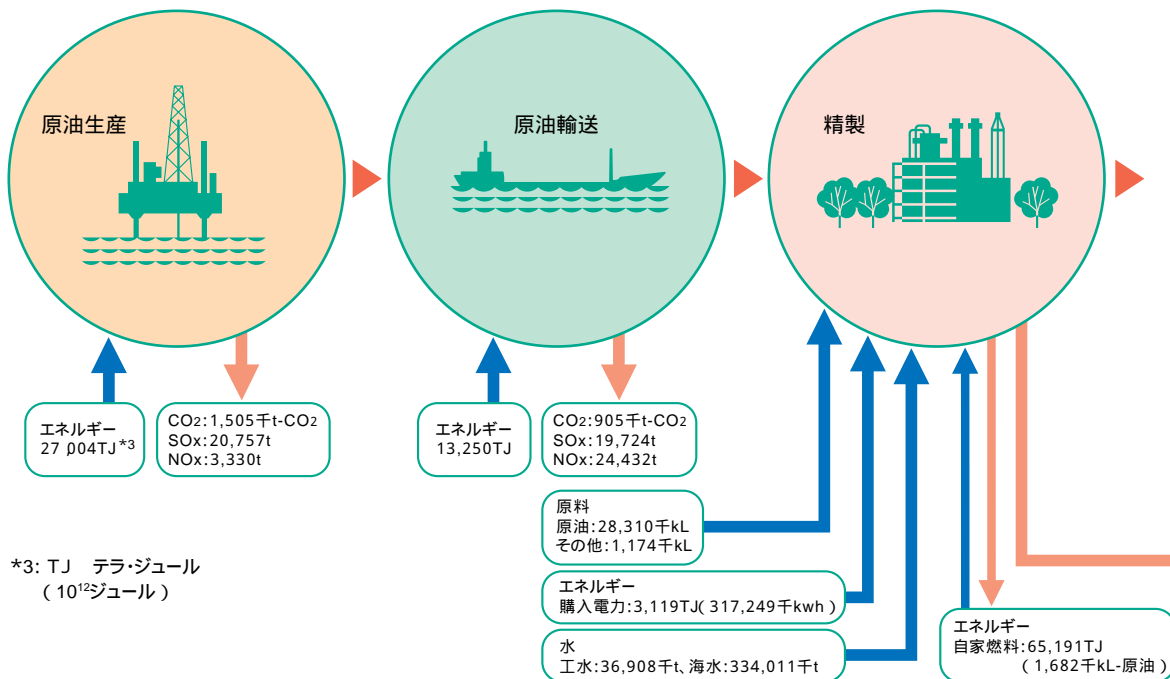
石油製品がお客様に届くまで

石油製品をつくる時から、お使いいただく時まで、すべての工程の環境負荷低減に取り組んでいます。

産油国での原油生産をはじめ、日本への輸送、製油所での精製、そしてSS（サービスステーション）への輸送・・・すべての工程で多くのエネルギーを必要としますが、石油製品の最大の環境負荷はお客様にご利用いただく時に発生します。コスモ石油は、2002年度に策定した環境中期計画「ブーア(Blue Earth)21」*1に基づき、製油所での省エネルギーをはじめ、お客様の使用時の環境負荷を低減するために、ディーゼル車用の低硫黄軽油*2を発売するなど、石油製品をお客様にお届けするまでのすべての工程で環境負荷低減に、積極的に取り組んでいます。

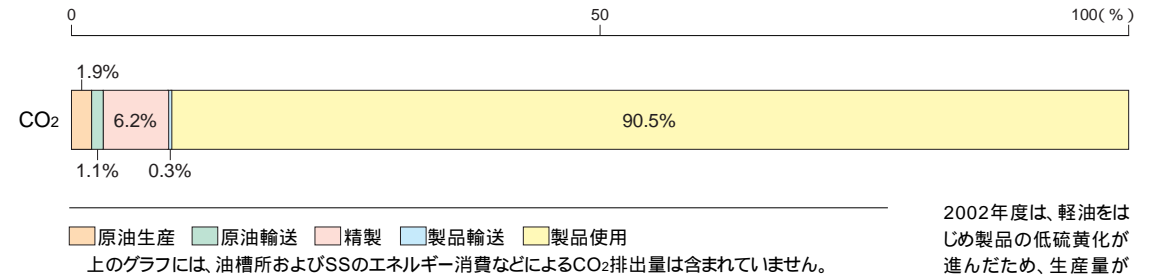
*1: 15ページを参照。

*2: 9ページを参照。



*3: TJ テラ・ジュール (10¹²ジュール)

石油のライフサイクルにおけるCO₂の排出比率



2002年度は、軽油をはじめ製品の低硫黄化が進んだため、生産量が増加したにもかかわらず、お客様使用時のSO_x排出量は前年度より低減しました。一方、お客様使用時のCO₂排出量は、生産量が増加したため、前年度より増大しました。精製時のCO₂排出量は、生産量の増大や精製高度化のため等の増加要因があったものの、省エネルギーに努めた結果、わずかな増大にとどまりました。その結果、精製時のCO₂排出比率は前年度比0.1%低減し、お客様使用時のCO₂排出比率が0.1%増大しました。